

平成27年度

事務事業評価表 A (平成26年度の実績評価)

記入年月日
平成 27 年 4 月 28 日

事務事業名	学校施設開放事業（真壁）					区分	事務事業No.	30423626	
						<input type="checkbox"/> 分野別主要事業	課内No.	26	
	政策体系上の位置付け					<input type="checkbox"/> 未来プロジェクト事業	主管課		
政策体系	総合計画の施策名	304	生涯スポーツ活動の振興			<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト事業	所属部	教育委員会	
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり			<input type="checkbox"/> 合併建設計画事業	所属課	スポーツ振興課 36	
	施策名	4	生涯スポーツ活動の振興			<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	課長名	笠倉 剛	
	基本事業名	2	スポーツ施設の充実と有効利用			<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業	グループ	スポーツ振興G	
	財務会計上の位置付け					事業期間	担当者名	松崎 和巳	
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計			
	1	10	6	2	5	体育館管理事業（真）			
法令根拠	桜川市学校施設開放に館知る規則					<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し (年度～)		
	【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

(1) 事務事業の概要・手段・目的・結果と各指標										
手段	① 事務事業の概要（事務事業の内容）					② 担当者が行う業務の内容、実際に行った主な活動				
	【事務事業の内容】 真壁地区内にある小学校4校と中学校2校の体育施設を開放する事業です。各学校に夜間管理員1名委託し雇用している。平成27年度現在の使用料は、無料となっています。 教育委員会が管理する学校体育施設を開放し、一般市民の利用に供する事業である。利用方法は、学校施設利用希望者（スポーツ少年団や体育協会のバレーボール、ビーチボールバレーなど）市内の学校施設を申請し許可を受け決められた時間内に学校施設を利用する。平成26年度に開放運営委員会を実施した。					【担当者が行う業務の手順】 市職員業務・使用許可申請書の受付、使用許可書の交付、利用調整(団体、学校、管理員) 管理員業務、施設の開閉戸締りの確認、備品の確認 平成平成27年に新体制の開放委員を立ち上げ、管理人の委嘱や、今後の開放事業について検討していく。今年度の目標は、開放時の使用料について各委員から意見を聞いて次年度以降の使用料の在り方とする。				
	③ 対象（誰、何を対象にしているのか）					⑦ 対象指標（対象の大きさを表す指標）				
	市民					人口(常住人口)				
目的	④ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）					⑧ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）				
	体育施設を利用してスポーツを楽しむ					楽しく利用している市民の数				
結果	⑤ 結果（どんな結果に結び付けるのか）					⑨ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）				
	スポーツを安心して行える環境が確保される。 スポーツを楽しむ機会が増える。					スポーツ実施率				

(2) 指標値の推移										
区分		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (計画)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量
⑥活動指標	ア	校	6	6	6	6	6	6	6	
	イ	日	1,044	1,039	1,117	1,100	1,100	1,100	1,100	
	ウ	人	44,449	43,826	43,190	42,920	42,337	41,756	42,337	
⑦対象指標	ア	人	23,943	21,955	23,240	24,000	24,000	24,000	24,000	
	イ									
	ウ									
⑧成果指標	ア	人	33.1	41.0	34.8	47.0	50.0	50.0	50.0	
	イ									
	ウ									
⑨上位成果指標		ア	%							

(3) 投入量（事業費）の推移											
投入量	事業費の内訳	国庫支出金	千円							0	
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		使用料・手数料	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	1,684	1,976	1,787	1,986	1,986	1,986		1,986
	事業費計(A)		千円	1,684	1,976	1,787	1,986	1,986	1,986		1,986
	人件費の内訳	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2		2
		述べ業務時間	時間	144	102	150	150	150	150		150
		人件費計(B)	千円	418	296	435	435	435	435		435
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,102	2,272	2,222	2,421	2,421	2,421	2,421		
事業費の内訳	26年度事業費 実績(千円)		27年度事業費 予算(千円)	28年度事業費 計画(千円)	29年度事業費 計画(千円)	30年度事業費 計画(千円)					
	管理人賃金	1,787	1,976	1,976	1,976	1,976	1,976	1,976	1,976		
	運営委員会報酬		10	10	10	10	10	10	10		
	合計	1,787	1,986	1,986	1,986	1,986	1,986	1,986	1,986		

(4) 当該年度の実施内容									
※ 下記に該当する事業は年度ごとの事業内容を記入する 方針別主要事業 未来プロジェクト事業 市長マニフェスト事業 合併建設計画事業			27年度の事業内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容			

事務事業名	学校施設開放事業（真壁）	事務事業No.	30423626	所属課	スポーツ振興課
-------	--------------	---------	----------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	昭和50年スポーツ少年団の活動場所の確保。市民の体づくり・健康づくりと地域のコミュニケーション促進を目的に開放された。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	備品の充実

【See】 2. 評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 小中学校の体育施設の貸出で、市民が体育施設を利用してスポーツを楽しむようになることによって、結果のスポーツを行える場所の確保、スポーツを楽しむ機会の増加に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民が市内にある施設を利用できることは、利便性が高くスポーツを楽しむ機会と体づくり、健康増進につながり、税金を投入するのは妥当である。
	③対象・意図の妥当性（対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？） <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 対象が市民であるので、適切である。
有効性	④成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 無駄のない施設利活用のための利用調整の精度を上げる。市民が安心して利用できるための安全管理が必要である。
	⑤廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民がスポーツを実践する機会が失われる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段が無い 具体的な手段、事務事業名 類似事業がない。 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦事業費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）） <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は管理人に対する、賃金が大きく占めている。管理方法について、住民の協力などが得ることができれば事業費の削減は可能であるが、困難である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地（やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？） <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は管理人に対する、賃金が大きく占めている。管理方法について住民の協力などが得ることができれば事業費の削減は可能であるが、困難である。
公平性	⑨受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公正・公平である 学校施設利用については無料となるが、他の体育施設については有料となるため施設の利用、管理を含め、今後見直しを行う。（学校開放委員への委嘱）

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民がスポーツを実践し、地域のコミュニケーションの場となり、健康増進につながっている。無駄のない施設の利活用ができるよう利用調整の精度を上げる。管理員の雇用契約方法を改善し、管理体制の見直しをすることも経費削減の方法につながる。施設利用は市民誰もが利用でき、利用料金は、無料である。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(3)-1 改革改善策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果																							
学校施設は、既存の利用団体がほぼ固定化されており、新規登録団体が使用しにくい環境にある。そこで、施設利用の公平性等の観点から、利用団体間で協議し調整を図り公平な利活用を実現する。	成果優先度評価結果 ③ コスト削減優先度評価結果 ⑨																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続（現状維持） C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続（改革改善を行う） D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>